

第二回福島大学・東京大学原子力災害復興連携フォーラム

福島県の農林漁業の現状と震災10年に向けての課題

漁業と汚染水に関する調査報告

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 准教授福島大学うつくしまふくしま未来支援センター・ 客員准教授

関谷直也



調査手法:各県300票インターネットによるモニター調査

調査時期:2018年12月7日~10日

調查対象:福島県300票

宮城県、茨城県、東京都、大阪府 各300票

調査方法:合計1500票の調査を実施

抽出方法:年層(20代~60代)·男女割当法

1

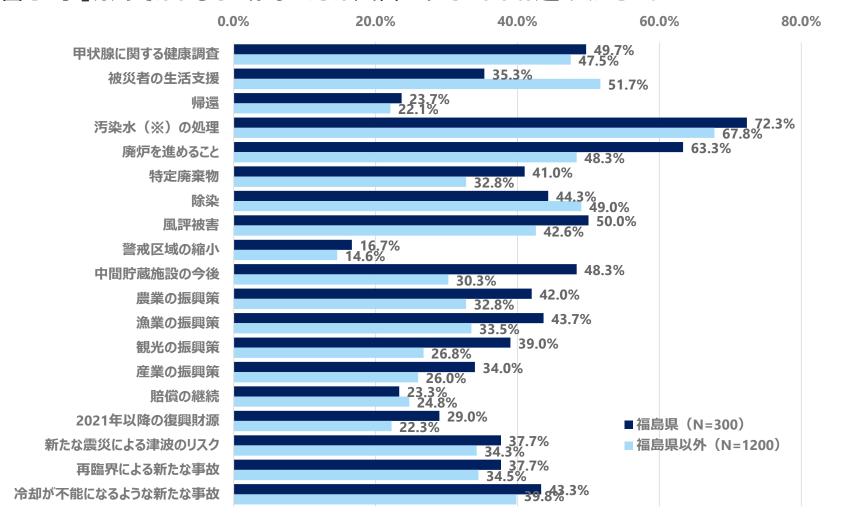
汚染水問題の認知汚染水に関する知識





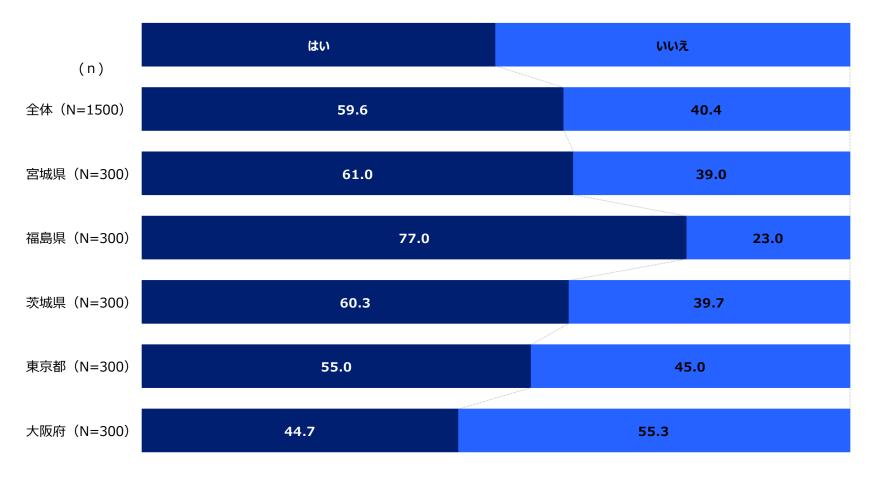
Center for Integrated Disaster Information Research

Q13.現在、東京電力福島第一原子力発電所に関する課題として、何が大事だと思いますか。 (いくつでも) (※) 汚染水:東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」※あてはまるものがない方は回答せずそのままお進みください。





Q3.現在、東京電力福島第一原子力発電所の敷地内には900個ほどのタンクがあり、その中に放射性物質を含む「水」が保管されています。あなたは、このことをご存知でしたか。【SA】

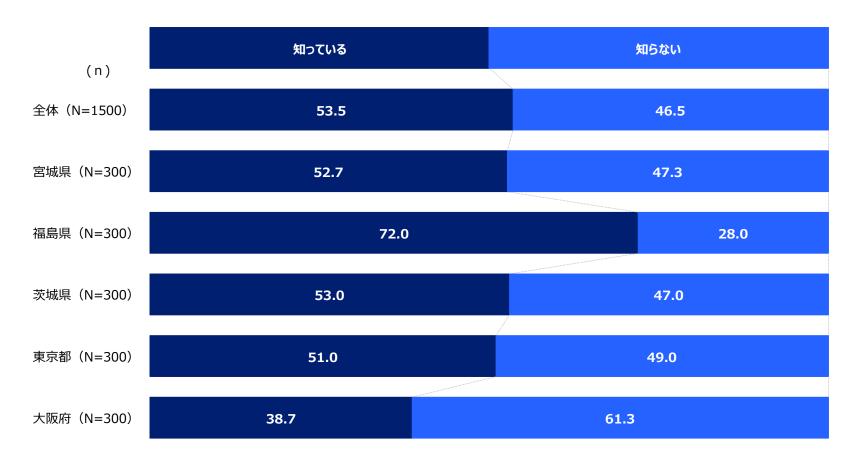


【汚染水】保存に関する問題の認知度



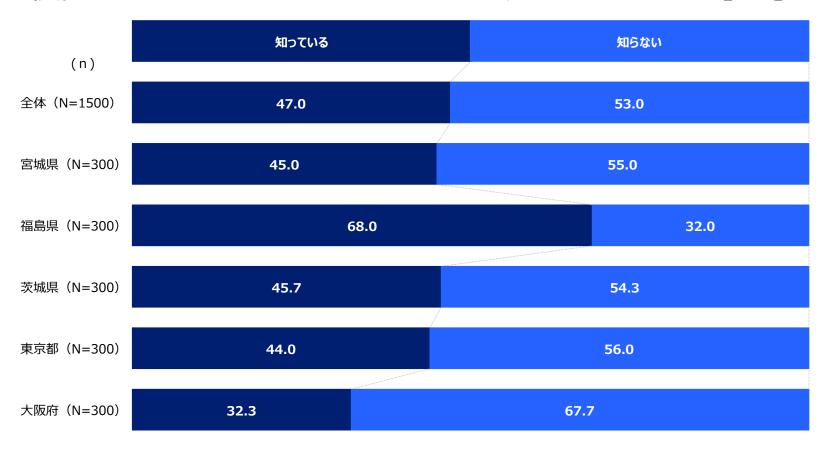
Center for Integrated Disaster Information Research

Q5.現在、その放射性物質を含む「水」の保管する量が増えてきており、 このままでは、敷地内においては、保存することができなくなることが懸念 されています。あなたはこのことを知っていますか。【SA】



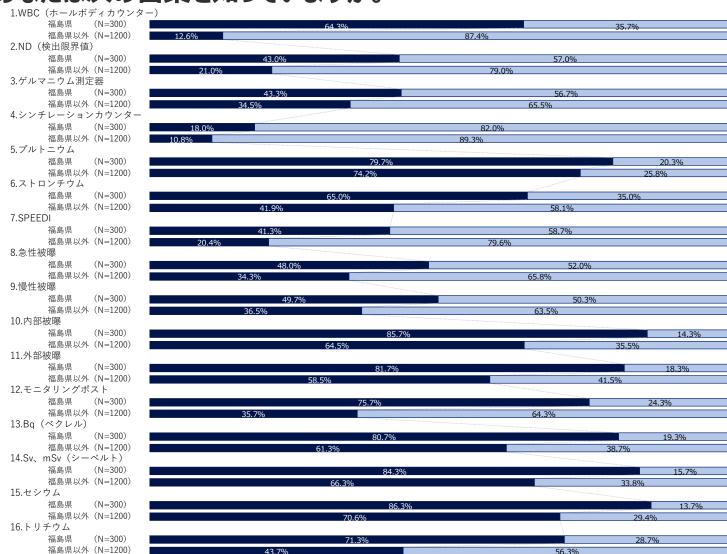


Q6.経済産業省において、その放射性物質を含む「水」を地中に注入したり、海、大気中のいずれかに放出をしたりする技術的方法やその可能性が検討されてきました。あなたはこのことを知っていますか。【SA】





Q15.あなたは次の言葉を知っていますか。





Center for Integrated Disaster Information Research

Q14. あなたは下記のことについて知っていますか。





Center for Integrated Disaster Information Research

Q9.あなたは汚染水問題(東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」に関する問題)や、農産物の検査体制について、つぎのことを

1.汚染水は、様々な核種をある程度、除去するための設備で処理されたものが保管されていること







【汚染水問題の認知、汚染水に関する知識】

- 汚染水の処理、廃炉の問題が最大の関心事
- 汚染水の問題を福島県内では7割、県外では5割が認識。
- 福島県内と福島県外で、放射線に関連する用語、汚染水に関連する知識に関して、大きな差がある。

2

汚染水処理への賛否、意見





Q7.では、その放射性物質を含む「水」を地中に注入したり、海、大気中のいずれかに放出をしたりすることについて賛成ですか、反対ですか。

[SA] 賛成 反対 わからない (n) 全体(N=1500) 13.2 46.5 40.3 宮城県(N=300) 15.0 46.3 38.7 福島県(N=300) 16.0 44.3 39.7 茨城県(N=300) 14.3 43.7 42.0 東京都(N=300) 11.7 47.0 41.3 大阪府(N=300) 9.0 40.0 51.0

【汚染水処理】処分方法の意見



Disaster Information Research

Q8.あなたは、その放射性物質を含む「水」について、どのように処分したらよいと思いますか。最もあてはまるものを一つだけ選んでください。【SA】



【汚染水処理】意見

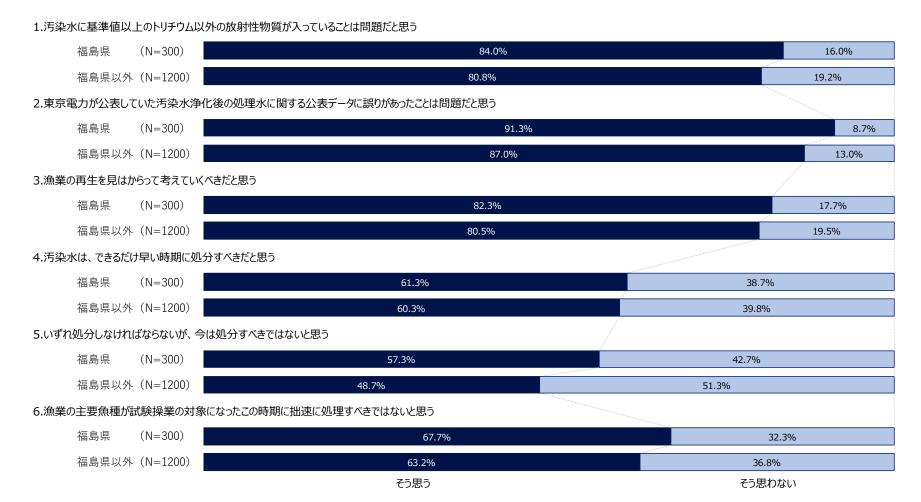
東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター



Disaster Information Research

Q10.汚染水問題(東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」

に関する問題)について、汚染水は地中や海、大気中に注入・放出することが検討されています が、あなたはどう思いますか。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。【SA】



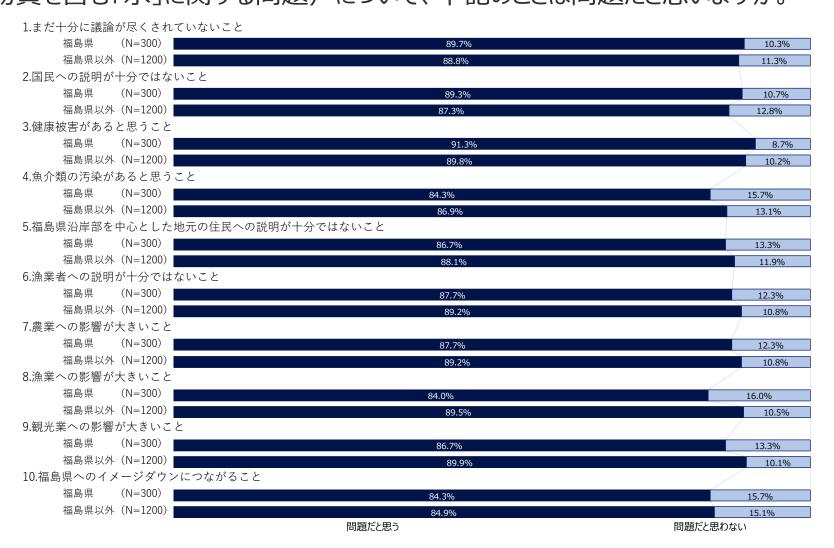
【汚染水処理】課題

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター



Disaster Information Research

Q11.現在の汚染水問題(東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」に関する問題)について、下記のことは問題だと思いますか。





【汚染水処理への賛否、意見】

- 賛否、処分方法について「わからない」との回答が多い
- 「埋設」「保管」など、環境に放出しない方がよいとの意見も 多い。
- 「十分に議論が尽くされていないこと」「国民への説明が十分 ではないこと」「健康被害があると思うこと」「魚介類の汚染が あると思うこと「「福島県沿岸部を中心とした地元の住民への 説明が十分ではないこと「「漁業者への説明が十分ではない こと」「農業への影響が大きいこと」「漁業への影響が大きいこ と「観光業への影響が大きいこと「福島県へのイメージダウン につながること」などへの懸念が表明されている。

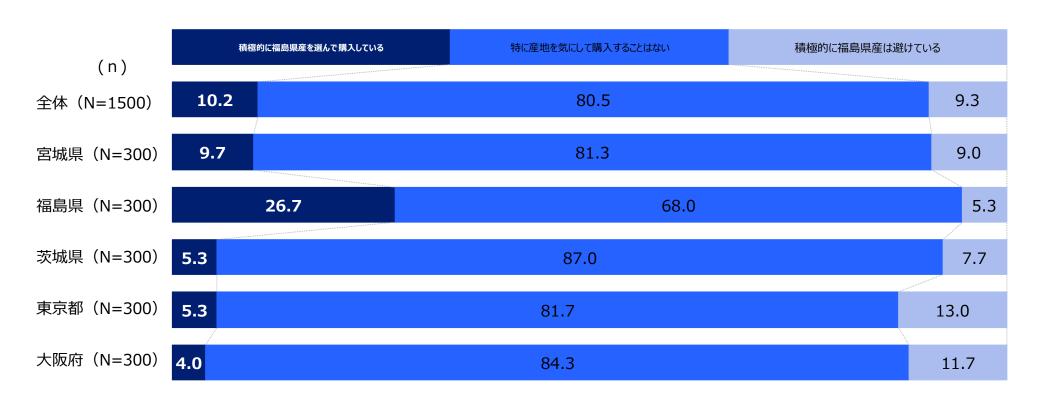
3

汚染水問題と消費行動



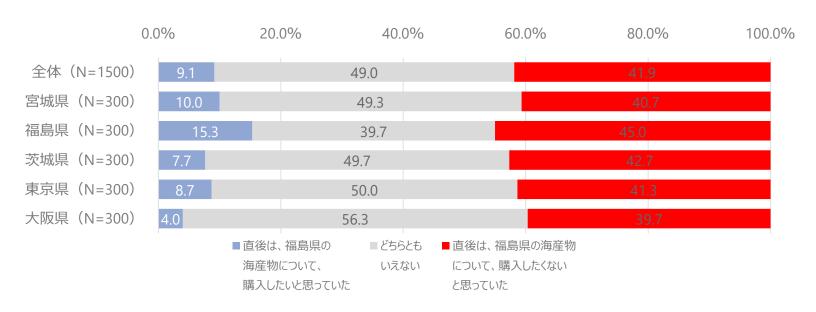


Q1.■普段たべる食品、特に福島県産についてお伺いします■あてはまるものを一つだけ選んでください。【SA】



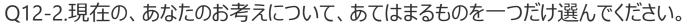


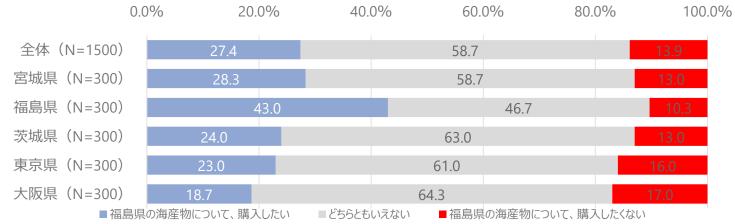
Q12-1.福島第一原発の事故直後から、福島県の海産物に対するあなたのお考えについて、あてはまるものを一つだけ選んでください。



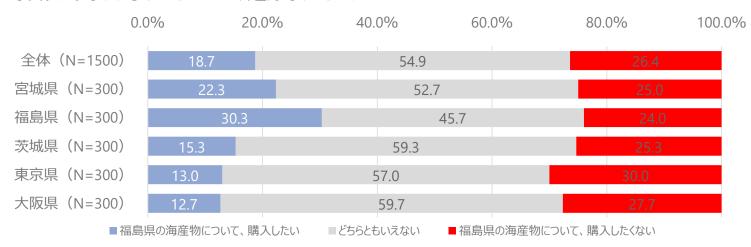


Center for Integrated Disaster Information Research





Q12-3.では、現在の汚染水(東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」)が、安全性に問題がない状態になるように処理されるという前提で、仮に海洋に放出された場合(そのことは現在、決まっているわけではありません)はどうですか。あてはまるものを一つだけ選んでください。



【消費への影響】海産物の購入

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター



Center for Integrated Disaster Information Research

Q12-4.では、現在の汚染水(東京電力福島第一原子力発電所に貯蔵してある放射性物質を含む「水」)が、安全性に問題がない状態になるように処理されるという前提で、仮に海洋に放出された場合(そのことは現在、決まっているわけではありません)、次の海産物について、購入したくないということはありますか。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	₹:	う思う	そう思わない
1.福島県の海産物について、購入したくない(n=1500)	37.5		62.5
2.岩手県の海産物について、購入したくない(n=1500)	23.9		76.1
3.宮城県の海産物について、購入したくない(n=1500)	24.9		75.1
4.茨城県の海産物について、購入したくない(n=1500)	24.9		75.1
5.東北地方の太平洋沿岸の海産物について、購入したくない(n=1500)	22.7		77.3
6.太平洋沿岸の海産物について、購入したくない(n=1500)	16.5		83.5



【汚染水問題と消費行動】

- 「福島県の海産物の購入をしたくない」という人は大幅に減り、直後4割程度から1割強程度に減少。だが、もし仮に海洋の放出された場合(もちろん仮にの話)、「福島県の海産物の購入をしたくない」という人は3割程度
- 岩手、宮城、茨城など、東北地方の太平洋岸の海産物について、購入したくないという人は2割強。消費者の動向だけでみると影響の範囲は福島県のほかにも、東北地方の太平洋岸の漁業におよぶ可能性が示唆される。



注釈

- 質問文中で用いている「仮に海洋に放出された場合」というのは、あくまで、想定調査の手法に過ぎず、調査実施者らが海洋放出を前提に議論しているわけではない。
- 本調査は、あくまで現時点での「人々の意識」「消費行動」の意識調査であり、流通実態を表したものではない。
- 将来の消費行動に関する質問項目については、現時点での「意向」に過ぎない。意向調査は、その後の実行動とずれる場合も多く、あくまで一つの目安に過ぎないことを留意されたい。